



Wilhelm・Conrad・Röntgen
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
1895年 X線発見

☆ご自由にお持ちください☆

放射線だより

2024年5月
No. 12 (隔月発行)
担当：馬場俊明

from Radiation House

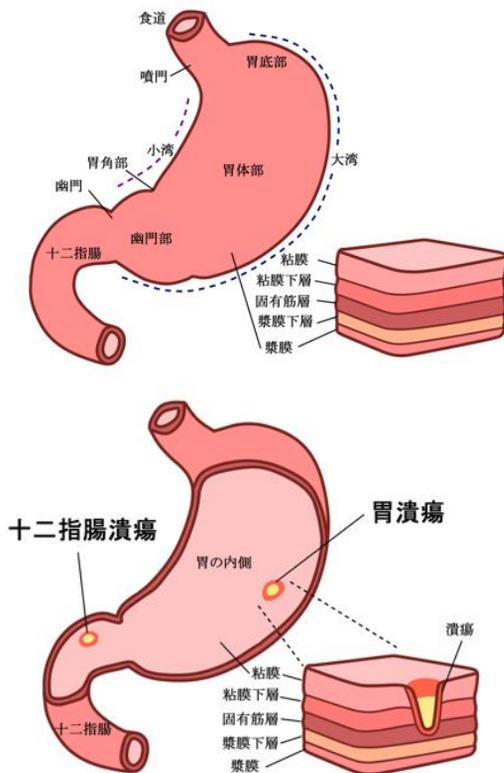
当院の胃バリウム検査について

バリウム(造影剤)を飲み、発泡剤(粒状)で胃を膨らませ、X線写真を複数枚撮影する検査です。

1枚1枚体位を変えることで、胃全体が撮影できるようにしています。

バリウム検査の目的は、食道や胃、十二指腸等にできる癌を始めとした病気の早期発見です。

バリウムが付着した食道・胃・十二指腸を撮影することで、ポリープや隆起性病変、陥凹性病変を発見することができます。



検査が終わったら…

バリウム検査終了後、飲水エリアにて500mlの水と下剤2錠の服用を勧めています。

バリウムが長時間体内に溜まると、バリウムが腸内で固くなり排泄が困難になります。その結果、腸閉塞や消化管穿孔等の病気に発展する恐れがあるため、普段より多く水分を摂取し体外へ排出する必要があります。

またアルコールを摂取すると、体内への水分吸収が速く、よりバリウムが固まりやすくなるため、排便されるまで控えてください。

(文責：伊藤)

認知症に関する核医学 (RI) 検査について

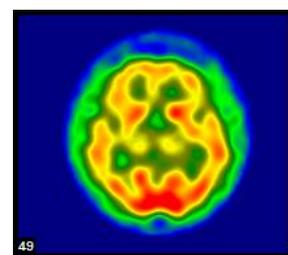
核医学検査は、放射線を放出する物質を含む医薬品を体内に投与し、病気の場所や臓器の働きを調べる検査です。

目的とする病気や臓器に集まった医薬品をガンマカメラという専用の装置で画像にし、診断します。



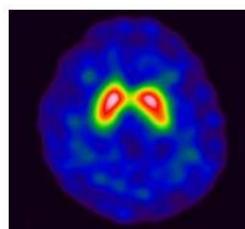
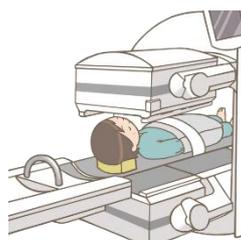
この核医学検査は、認知症の検査に有効です！

脳血流シンチグラフィはその名の通り、脳の血流を画像化し血流量を測定する検査です。脳のどの部分の血流が低下しているかを調べることで、認知症の早期発見や認知症のタイプ（種類によって治療薬が効きやすいものがあります）の鑑別、進行度の評価などを行うことが可能です。



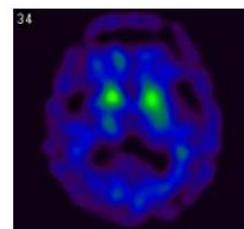
脳血流シンチグラフィ

また、DATSCAN や MIBG 心筋交感神経機能シンチグラフィといった検査は脳や心臓の神経機能を調べる検査であり、レビー小体型認知症やパーキンソン病といった神経に異常をきたし認知機能に異常をきたす病気を早期に見つけることが可能です。



DATSCAN

正常画像



DATSCAN

パーキンソン病

検査に関する注意点

検査の性質上、目的の臓器に医薬品が集まるまで、数時間お待ちいただいたり、服用中の薬の一時中止などが必要な場合もありますので、医師の指示に従ってください。検査は、専用ベッドに静かに横になっている間に行われます。検査時間は検査ごとに異なるため、当日に診療放射線技師からの説明をしっかりと聞いてください。

また、医薬品の有効期間は極めて短く、検査予定日の朝に病院に届いた医薬品を、その日のうちに使わなければなりません。必ず検査時間に間に合うようにお越しください。検査の無断キャンセルは、医薬品の廃棄につながり、薬代を患者さまに負担していただく可能性もありますので、時間を変更したい場合や日に変更したい場合は必ず前日までに当院に連絡をお願いいたします。

(文責：吉原)